



平成 20 年 3 月期 第 1 四半期財務・業績の概況

平成 19 年 8 月 9 日

上 場 会 社 名 東海アルミ箔株式会社

上場取引所 J Q

コ ー ド 番 号 5 7 5 6

URL <http://www.tokai-alumi.co.jp/>

代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 水野 昭

問合せ先責任者 (役職名) 経営企画室長 (氏名) 堀 弘之

TEL (045) 313-8313

(百万円未満切捨て)

1. 平成 20 年 3 月期第 1 四半期の連結業績 (平成 19 年 4 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四半期(当期)純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %
20 年 3 月期第 1 四半期	4,789 (12.3)	84 (△14.3)	44 (△25.1)	42 (△29.0)
19 年 3 月期第 1 四半期	4,263 (7.7)	98 (6.1)	59 (7.5)	59 (41.2)
19 年 3 月期	18,298	373	218	206

	1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益	潜 在 株 式 調 整 後 1 株 当 たり 四 半 期 (当 期) 純 利 益
	円 銭	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	5 49	4 59
19 年 3 月期第 1 四半期	7 73	6 47
19 年 3 月期	26 94	22 55

(2) 連結財政状態

	総 資 産	純 資 産	自 己 資 本 比 率	1 株 当 たり 純 資 産
	百万円	百万円	%	円 銭
20 年 3 月期第 1 四半期	13,832	700	5.0	△20 01
19 年 3 月期第 1 四半期	12,979	509	3.9	△44 33
19 年 3 月期	13,852	658	4.7	△25 48

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営 業 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	投 資 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	財 務 活 動 に よ る キャッシュ・フロー	現 金 及 び 現 金 同 等 物 期 末 残 高
	百万円	百万円	百万円	百万円
20 年 3 月期第 1 四半期	△583	△224	32	795
19 年 3 月期第 1 四半期	—	—	—	—
19 年 3 月期	933	△54	△726	1,571

(注) 四半期連結キャッシュ・フローの状況の開示は、19 年 3 月期第 3 四半期より実施しておりますので、19 年 3 月期第 1 四半期実績は記載しておりません。

2. 配当の状況

	1株当たり配当金
(基準日)	第1四半期末
	円 銭
19年3月期第1四半期	— —
20年3月期第1四半期	— —

3. 平成20年3月期の連結業績予想(平成19年4月1日～平成20年3月31日) 【参考】

(%表示は、通期は対前期、中間期は対前年中間期増減率)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円 %	百万円 %	百万円 %	百万円 %	円 銭
中間期	9,200 (7.5)	160 (36.4)	90 (57.8)	70 (1.5)	9 13
通期	19,300 (5.5)	440 (17.9)	310 (42.2)	230 (11.3)	29 99

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 有

〔(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。〕

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期における国内経済は、企業業績の改善を背景にした民間設備投資の増加や個人消費の堅調な推移に支えられ、原油や素材原料価格の高騰など懸念要因はありましたが、概ね緩やかな回復基調が続きました。

アルミ箔業界におきましては、アルミ地金価格が急騰しその後高止まりを続けたことから、収益環境は非常に厳しいものとなりました。

こうした中、当グループの第1四半期の業績は、連結売上高は47億89百万円(前年同期比5億26百万円、12.3%増)となりました。しかしながら収益面では、各方面にわたるコスト削減努力にもかかわらず、アルミ地金価格高騰の影響、中国製品の流入に伴う日用品用箔の減少等により、営業利益は84百万円(前年同期比14百万円、14.3%減)、経常利益は44百万円(前年同期比14百万円、25.1%減)となり、法人税等負担額を差し引いた四半期純利益は42百万円(前年同期比17百万円、29.0%減)となりました。

このような状況のもと当グループは、一連の財務基盤の改革を完了したことを踏まえて拡大均衡路線への転換を図ります。具体的には「新再建計画」に基づいて、工場増産体制の充実、生産効率の改善、拡販体制の推進、新製品の拡充、コストダウンの諸施策等を強力に実施することにより、収益体質の改善にこれまで以上に取り組んでまいります。

また、東洋アルミニウム株式会社との業務提携によるシナジー効果を早期に実現することにより、なお一層企業体質の強化に努めてまいります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第1四半期における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ20百万円減少し138億32百万円となりました。また、純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ利益剰余金が42百万円増加し7億円となりました。

当第1四半期における連結キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物が、前連結会計年度末に比べ7億75百万円減少し、7億95百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果減少した資金は5億83百万円となりました。これは、主に仕入債務の減少によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果減少した資金は2億24百万円となりました。これは、主に有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果得られた資金は32百万円となりました。これは、主に短期借入金の増加によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成20年3月期の連結業績予想につきましては、現在のところ当初の業績予想(平成19年5月15日公表)に変更はありません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 会計処理の方法における簡便な方法の採用

法人税等の計上基準等において、一部簡便な方法を採用しております。

(3) 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更

(有形固定資産の減価償却方法の変更)

当連結会計年度より法人税法改正に伴い、平成19年4月1日以降取得する有形固定資産については、改正後の法人税法に規定する減価償却費を計上しております。

なお、この変更に伴う業績に与える影響は軽微であります。

5. (要約) 四半期連結財務諸表

(1) (要約) 四半期連結貸借対照表

(単位: 百万円、%)

科 目	前年同四半期末 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期末 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期末 (平成19年3月期末)
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
(資産の部)					
I 流動資産					
1 現金及び預金	1,523	795	△727	△47.8	1,571
2 受取手形及び売掛金	4,480	5,515	1,035	23.1	4,987
3 たな卸資産	2,177	2,570	393	18.1	2,510
4 その他	250	260	9	3.7	273
流動資産合計	8,432	9,142	710	8.4	9,342
II 固定資産					
1 有形固定資産	4,291	4,513	222	5.2	4,333
2 無形固定資産	7	8	0	12.8	8
3 その他	248	168	△79	△32.2	167
固定資産合計	4,546	4,689	142	3.1	4,510
資産合計	12,979	13,832	853	6.6	13,852
(負債の部)					
I 流動負債					
1 支払手形及び買掛金	4,209	5,680	1,470	34.9	5,788
2 短期借入金	1,421	1,129	△292	△20.6	1,085
3 その他	604	673	69	11.5	704
流動負債合計	6,235	7,483	1,247	20.0	7,578
II 固定負債					
1 長期借入金	4,500	4,019	△481	△10.7	4,030
2 繰延税金負債	0	0	0	6.3	0
3 再評価に係る繰延税金負債	521	521	—	—	521
4 退職給付引当金	946	965	19	2.1	914
5 役員退職慰労引当金	79	—	△79	—	—
6 リース資産減損勘定	114	76	△37	△32.9	84
7 その他	71	64	△6	△9.8	64
固定負債合計	6,233	5,648	△585	△9.4	5,615
負債合計	12,469	13,131	662	5.3	13,194
(純資産の部)					
I 株主資本					
1 資本金	780	780	—	—	780
2 利益剰余金	△1,035	△846	189	18.3	△888
3 自己株式	△0	△0	—	—	△0
株主資本合計	△255	△65	189	74.3	△107
II 評価・換算差額等					
1 その他有価証券評価差額金	0	0	0	35.2	0
2 土地再評価差額金	761	761	△0	△0.0	761
評価・換算差額等合計	762	762	0	0.0	762
III 少数株主持分	2	4	1	50.6	3
純資産合計	509	700	190	37.4	658
負債純資産合計	12,979	13,832	853	6.6	13,852

(2) (要約) 四半期連結損益計算書

(単位：百万円、%)

科 目	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	増 減		(参考) 前期 平成19年3月期
	金 額	金 額	金 額	増減率	金 額
I 売上高	4,263	4,789	526	12.3	18,298
II 売上原価	3,672	4,171	499	13.6	15,830
売上総利益	590	617	26	4.5	2,467
III 販売費及び一般管理費	492	532	40	8.3	2,094
営業利益	98	84	△14	△14.3	373
IV 営業外収益	7	11	4	54.4	67
V 営業外費用	46	51	5	10.9	222
経常利益	59	44	△14	△25.1	218
VI 特別利益	—	—	—	—	18
VII 特別損失	—	1	1	—	4
税金等調整前四半期 (当期)純利益	59	42	△16	△28.1	231
税金費用	1	0	△0	—	25
少数株主利益又は 少数株主損失(△)	△1	0	1	—	0
四半期(当期)純利益	59	42	△17	△29.0	206

(3) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)	当四半期 (平成20年3月期 第1四半期末)	(参考) 前期 平成19年3月期
区 分	金 額	金 額	金 額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー			
1 税金等調整前四半期(当期)純利益	—	42	231
2 減価償却費	—	66	149
3 有形固定資産除却損	—	—	4
4 有形固定資産売却損	—	1	—
5 関係会社清算益	—	—	△13
6 貸倒引当金の増加額	—	0	28
7 賞与引当金の増加額	—	59	8
8 課徴金納付引当金の減少額	—	—	△130
9 退職給付引当金の増加額	—	51	28
10 役員退職慰労引当金の減少額	—	—	△79
11 受取利息及び受取配当金	—	△1	△4
12 支払利息	—	33	134
13 売上債権の増加額	—	△528	△834
14 たな卸資産の増加額	—	△60	△392
15 仕入債務の増加額(△減少額)	—	△128	1,908
16 その他	—	△60	40
小 計	—	△523	1,079
17 利息及び配当金の受取額	—	1	4
18 利息の支払額	—	△34	△128
19 法人税等の支払額	—	△27	△21
営業活動によるキャッシュ・フロー	—	△583	933
II 投資活動によるキャッシュ・フロー			
1 投資有価証券の取得による支出	—	△0	△1
2 投資有価証券の売却による収入	—	—	60
3 関係会社清算による収入	—	—	23
4 有形固定資産の取得による支出	—	△228	△140
5 無形固定資産の取得による支出	—	—	△2
6 貸付けによる支出	—	△1	△3
7 貸付金の回収による収入	—	4	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	—	△224	△54
III 財務活動によるキャッシュ・フロー			
1 短期借入金の純増減額	—	43	△355
2 長期借入金の返済による支出	—	△10	△371
財務活動によるキャッシュ・フロー	—	32	△726
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—	—
V 現金及び現金同等物増加額(△減少額)	—	△775	153
VI 現金及び現金同等物の期首残高	—	1,571	1,418
VII 現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	—	795	1,571

(注) 四半期連結キャッシュ・フローの状況の開示は、19年3月期第3四半期より実施しておりますので、19年3月期第1四半期実績は記載しておりません。